

2025

議会だより

ふそく

第263号

10月臨時会
12月定例会

10月20日に行われた「扶桑にぎわい祭り 笑みっしょん」のPalettesさんのパフォーマンス

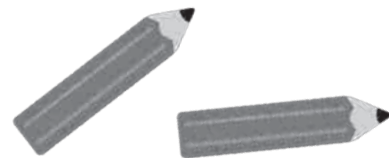
主な内容

- 研修会・行政視察レポート…………… 2P～ 3P
- 12月定例会の概要…………… 4P
- ここが聞きたい12月定例会一般質問…………… 7P～21P
- キラリ まち人 紹介…………… 22P

発行／扶桑町議会 編集／議会だより編集特別委員会

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字天道330 TEL：0587-92-4130 FAX：0587-92-1381 E-mail:gikai_sc@town.fuso.lg.jp 発行日／令和7年2月1日

研修会・ 行政視察レポート



他地域の先進的な取り組みを調査・研究し、扶桑町の課題に活かせるよう、委員会に分かれて行政視察を行っています。

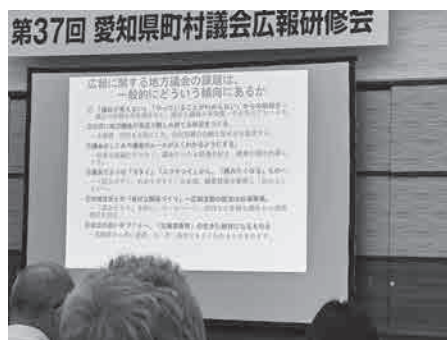


議会だより 編集特別委員会

研究テーマ 読まれる紙面づくり

愛知県町村議会広報研修会へ参加 (名古屋市中区) 8月5日(月)

読まれる紙面、編集スキルを学ぶため、議会広報サポーター芳野政明氏を講師に迎え、「議会の見える化&住民との信頼関係」～議会広報の基本と編集～の講演を聴講後、各自治体発行の議会だよりを評価していただいた。



議会の視点

一般質問ページが占める割合が高く、編集にも時間がかかっている。内容をコンパクトにし、今後はもっと定例会以外の議員活動の様子や住民参加型の紙面づくりを目指したい。



総務経済常任委員会

研究テーマ
災害復興・DX推進

新庁舎、復興まちづくりセンターを見学 (熊本県益城町) 10月15日(火)

熊本地震で震度7を2度受け被災。役場は耐震補強をしていたが使用不能となり、仮設庁舎で住民の復興を最優先に行ったうえで、昨年より免震構造の新庁舎で公務を行っている。

また、復興まちづくりセンター「にじいろ」は、熊本地震を忘れない記憶の継承の意味も込め、住民活動と交流の場として益城町役場新庁舎と震災記念公園に隣接して建設。

DX推進計画の取り組み (熊本県大津町) 10月16日(水)

大津町DX推進計画として、地域DXで地域が元気に町民生活の質の向上と行政DXで行政の業務改善と行政サービスの向上を目標年次を2025年度とし策定、アクションプランを毎年度見直している。



議会の視点

益城町では、防災基本条例を策定し、住民、行政との役割を明確にし、自助、共助、公助の考え方を明確化された。本町も参考にし、災害に対する備えをさらに見直す必要があると感じた。



福祉教育常任委員会

研究テーマ
ひきこもり・子育て支援



議会の視点

相生市の11の支援の中で、妊活を応援する事業、お誕生お祝い金、子育て応援チケットプレゼント等、若い世代に好まれる施策を扶桑町でも取り上げていきたい。



ひきこもり支援事業 (岡山県総社市) 11月18日(月)

ひきこもり支援等検討委員会(市職員、社協、ハローワーク、医師会、民生委員等)を設置、支援施策等協議。長期欠席の児童・生徒の状況把握と分析・整理。中学校卒業後も必要に応じて相談できる支援体制を作るため、不登校状態にある生徒・保護者に対して、卒業前に四者面談を実施。

ひきこもり支援センター「ワンタッチ」や常設居場所「ほっとタッチ」を開設している。

子育て支援「11の鍵」 (兵庫県相生市) 11月19日(火)

人口減少を食い止めるため、子育て世代をターゲットに定住促進を図ることとし、給食無償化、新婚さんの新生活応援金など11の子育て応援をしている。

12月定例会の概要

令和6年12月定例会は、11月29日(金)から12月18日(水)まで開催。
今回の定例会では、一般会計補正予算・特別会計補正予算を始め、陳情等13案件の審議を行いました。

一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ2億355万5千円追加し、130億5893万6千円となっています。主な内容は次のとおりです。

主な事業

(万円未満切り捨て)

国民健康保険特別会計繰出金

426万円

介護保険特別会計繰出金

2619万円

戸籍住民基本台帳事務費(臨時)

174万円

戸籍システム(戸籍氏名振り仮名追加)改修委託料です。

福祉医療総務費(臨時)

138万円

福祉医療システム(マイナ保険証連携)改修委託料です。

自立支援費支給事務費

8173万円

主に障害者就労継続支援B型の訓練等給付の増加に伴うものです。

児童発達支援支給事務費

2090万円

児童通所サービスの放課後等デイサービスの利用増加に伴うものです。

障害者等医療費支給事務費

1460万円

障害者医療・精神障害者医療扶助費の増加に伴うものです。

在宅福祉サービス事業費

206万円

在宅高齢者の方の、施設への短期入所の利用増加などに伴うものです。

老人福祉手当支給事業費

158万円

ねたきり老人等介護手当の受給者の増加によるものです。



こども家庭センター(母子保健)事業費

45万円

産後ケア事業の利用者の増加によるものです。

小学校校舎施設営繕工事費

299万円

柏森小学校の郷土資料室を、特別支援学級用教室に用途変更する改修工事です。

国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1016万7千円追加し、29億2612万円となっています。

主な事業

(万円未満切り捨て)

一般被保険者高額療養費

590万円

介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2億399万4千円追加し、30億3068万8千円となっています。

主な事業

(万円未満切り捨て)

居宅介護サービス給付費負担金

8105万円

施設介護サービス給付費負担金

8954万円

10月臨時会

令和6年10月25日(金)に臨時会を開催し、専決処分の承認1件、物品購入契約の締結1件の審議を行い、いずれも全員賛成で可決されました。

専決処分の承認を求めることについて

一般会計補正予算(第5号)
内容は次のとおりです。

(万円未満切り捨て)

衆議院議員総選挙費

1536万円

令和6年10月27日に行われた衆議院議員総選挙に係る費用です。

物品購入契約の締結

709万円

9月定例会にて可決された補正予算に基づき、ウォーターバッグ1600袋、組立式給水タンク8基を購入するものです。町内4小学校それぞれにウォーターバッグ400袋、組立式給水タンク2基を配備し、大規模災害時に備えます。

専決処分とは

根拠	地方自治法第179条	地方自治法第180条
対象	緊急の案件で議会を招集する時間的余裕がないことが明らかとなきなど	軽易な事項で、あらかじめ議決により指定したもの
具体例	災害対応の予算など	小額の損害賠償など
事後の手続き	議会への報告、承認	議会への報告

令和6年第8回(12月)扶桑町議会定例会 議員別審議結果一覧表

○賛否が分かれた案件

議案等		議決結果	桑政クラブ								新政クラブ				日本共産党	公明党	無所属	
			市橋英男	伊藤 猛	大河原光雄	兼松伸行	近藤 裕	澤田憲宏	杉浦敏男	丹羽友樹	間宮幹男	片野泰雅	千田勝文	高橋怜央	和田佳活	荒木孝三	佐藤智恵子	山田惇起
◆陳情																		
陳情	「小中学校給食無償化のための補助制度新設等を求める意見書」採択についての陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	○	●	○※

賛否状況 ○：賛成 ●：反対 —：議長は採決に加わらない。※：討論者

議決結果一覧は、扶桑町ホームページ(扶桑町議会)でご確認いただけます。

可決した意見書

国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書

医療・介護・福祉・保育など公的価格で働くケア労働者の処遇改善を国の責任で確実に実施し、ただちに全産業平均との格差をなくすことを求める意見書

★ 意見書の全文は、扶桑町ホームページ(扶桑町議会)に掲載しています。 ★

こんなことを聞きました

総務経済常任委員会

令和6年度扶桑町一般会計補正予算(第6号)

問 情報系事業費の補正減額はパソコン40台の購入差額と説明を受けたが、25%に当たる入札差額の主な理由は。

答 ○A機器など、特にパソコンは、機種の入れ替わりが早く、比較的短いサイクルで市場に出回るので予算積算後、時間が経過することにより価格が下がる傾向にある。また、まとまった台数となるので、台数分の確保ができるが、在庫があるかどうかによっても価格が変動する。

問 江南丹羽環境管理組合の負担金の増減の内容は。

答 事業運営費の減額は、令和5年度の決算において、繰越金が増額となり、令和6年度分で扶桑町の負担金を減額する。

事業運営費(令和5年度精算分)の増額は、令和5年度の負



(購入したパソコン)

担金を令和4年1月から12月までの搬入量割で負担していたものを、令和5年4月から令和6年3月までの確定した搬入量割に基づき、各市町の負担金を精算するものである。

問 農業委員会委員報酬の減額は、市町村要求額が国の予算を超えたため、市町村への配分が均等に減額されたものか。

答 国の市町村への配分が減額されたため、町への補助金も減額された。

総務経済常任委員会への付託案件として、議案1件、陳情1件を審査しました。

福祉教育常任委員会

令和6年度扶桑町一般会計補正予算(第6号)

問 総合グラウンド照明灯配線修繕工事について、ナイター照明灯5基を一緒に修理した方が効果的ではないか。

答 総合グラウンドナイター照明5基のうち、3基が点灯しなくなり、他の2基も配線の劣化が激しいため、合わせて修理するものである。



(総合グラウンド照明灯)

令和6年度扶桑町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

問 保険基盤安定繰入金の内容は。

答 保険税で7割、5割、2割の軽減された方の不足分を国・県・町が負担しているものであり、その対象者数で増減するものである。

令和6年度扶桑町介護保険特別会計補正予算(第2号)

問 予期せぬ膨大な補正予算が組まれる中、今後どのように運営されていくのか。

答 令和7年度については、例年、介護保険の計画に基づいた形をベースに当初予算を編成している。令和6年度をみても給付費が予定より増えてきているので、令和7年度の途中で補正が必要になってくると思われる。その場合、不足する部分を県からの借り入れをして補正予算の編成をしなければならぬ。仮に令和7年度の途中で補正する場合、令和8年度は当初から県の借り入れを利用した予算編成になると思われるため、次の第10期計画(令和9年、10年、11年)の中で3年かけて借り入れた額を返済することになる。

福祉教育常任委員会への付託案件として、議案4件、陳情5件を審査しました。

町政を問う

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問とは、議員が自身の考えや町民の皆様の声をもとに町政全般について質問することです。

質問者	件 名	ページ
12月5日		
近 藤 裕	小学校体育館空調設備工事設計について 他2件	8
澤 田 憲 宏	地球温暖化 他1件	9
杉 浦 敏 男	高齢者福祉施策について	10
山 田 惇 起	本町職員の労働環境について 他1件	11
片 野 泰 雅	小学校給食試食会事業の再開について 他4件	12
大 河 原 光 雄	教育委員会事務点検評価報告について 他1件	13
伊 藤 猛	DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについて	14
12月6日		
間 宮 幹 男	財政力向上の取り組みについて 他1件	15
和 田 佳 活	開発（高雄東部地区）における整備について 他2件	16
市 橋 英 男	町の防犯灯について	17
佐 藤 智 恵 子	選挙について 他1件	18
荒 木 孝 三	給食費の無償化について 他2件	19
兼 松 伸 行	道路交通法改正にともなう自転車規制について 他1件	20
千 田 勝 文	令和7年度予算編成について	21

一般質問の録画配信を YouTube「扶桑町議会」チャンネルで公開しています。
視聴については扶桑町議会ホームページ「一般質問録画配信」をご覧ください。

扶桑町議会ホームページ
「一般質問録画配信」



YouTube
「扶桑町議会」



令和6年12月5日・6日、
14議員が登壇し、
一般質問を行いました。

小学校体育館空調設備の完成は



桑政クラブ
こんどう ひろし

近藤 裕 議員

答 令和8年2月頃の供用開始

問 令和6年度の予算の中で、小学校の体育館に空調設備を設置するための設計業務が委託されている。これは指定避難所となる小学校4校の体育館にLPガスにより稼働する自家発電機能を備えた空調設備及びLPガス貯蔵設備を設置するための設計である。4小学校における設備工事の時期及び運用開始はいつからか。

答 **総務部長** 経済産業省の補助金を活用する予定であるので、令和7年5月下旬から公募開始、交付決定を9月に受けるかと仮定すると工事開始は10月頃になる。検査や業者への支払いを2月中旬までに終えなければならぬため、工事は1月中旬に完了する必要があるが大変厳しいスケジュールになることが想定される。実際の供用開始は令和8年2月頃になる予定である。

問 LPガスを使用した空調設備導入計画は、災害時に避難所となる小学校体育館にエアコンを設置する計画であるが、平時での使用基準は。

答 **総務部長** 来年度、小学校体育館に設置する空調設備は、避難所としての機能整備と学校の生活環境改善のために設置するものであるが、学校開放等で地域住民の方などが利用する時も空調設備を使用できるようにする予定である。ただし、受益者負担を含め、使用するための基準、運用方法については今後検討していく。

児童センター南側の防球ネットの延長は

問 現在、児童センター南側には高さ10mの防球ネットが設置されている。しかし、延長27mの距離では西側にあるクスノキまでの間、約10mがないため、扶桑中学校側からのボールの打ち込みにより児童館内及び周辺で遊ぶ子どもたちが危険な状況にある。防球ネットの延長の考えは。

答 **教育部長** 防球ネットが建物の手前までのため、学校側からのボールなどが入り込む可能性があると考えられる。そこ

で、児童センターにボールが入らないようにするため、設置してある高さ10mの防球ネットを西方向に延長するよう検討している。ただし、防球ネットの延長についてはクスノキへの影響も含め検討していきたい。



(大府市で設置されたLPガスヒートポンプ)



桑政クラブ
さわだ のりひろ
澤田憲宏 議員

緑地公園整備計画の意見聴取は

答 多くの意見を集め、計画に反映する



(木曽川扶桑緑地公園サイクリングロード)

問 木曽川扶桑緑地公園整備計画

問 利用状況と課題は。

答 産業建設部長 木曽川扶桑緑地公園は日々多くの利用者でにぎわっており、令和5年度は約7万3000人の方が来園された。利用者の多くが自家用車でお越しになることから駐車場不足が課題になっている。また、サイクリングロードではサイクリング利用者とウォーキング利用者が混在しており、両利用者の安全確保のため、歩行者と自転車の分離についても課題である。

問 (仮称)新愛岐大橋架橋と緑地公園整備計画の

関連性は。

答 産業建設部長 新橋架橋により、扶桑町は愛知県と岐阜県を結ぶ新たな北の玄関口となり、この橋を利用し、公園を利用する方も増加すると考えている。橋からアクセスしやすい公園への入口等の整備なども必要となる。今後、新たな北の玄関口にふさわしい誰もが安心して利用できる公園となるよう計画、整備していく。

問 整備計画工程における住民等の意見聴取は。

答 産業建設部長 「公園整備計画の基本構想を作成するために住民の方からの意見、要望を盛り込むことは必要不可欠なものとなる。聴取方法については来年度以降においてインターネット等を用い、多くの意見を集め、計画に反映することができよう努める。

問 かわまちづくり支援

制度を利用したにぎわい創出の考えは。

答 産業建設部長 今後の公園整備には、この制度を活用した市町より状況を聞き取るとともに国や愛知県の補助制度についても併せて調査し、地域のにぎわいに寄与できるよう努める。

本町の温室効果ガス抑止

問 温室効果ガス排出量と2030年度の見込みは。

答 生活安全部長 基準年度の2013年度は16万7800t、2030年度は46%削減した9万600tを目標排出量としている。

問 具体的な取り組み事例は。

答 生活安全部長 町では支援事業として自己用戸建て住宅を対象に扶桑町住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金を令和2年度から実施。今年度も11月初旬に上限額まで申請をいただいた。

問 再生可能エネルギーの導入状況は。

答 生活安全部長 扶桑町が導入可能な再生可能エネルギーは太陽光発電と考えている。学校給食共同調理場、児童センターひまわりの2施設に導入している。今後、公共施設については大規模改修に合わせて建築物の強度等を見極め、検討していく。

問 2050年ゼロカーボンシティの表明は。

答 生活安全部長 脱炭素社会の実現には事業者や住民も一緒にゼロを目指すことになる。計画等において方向性は示しているが具体的な取り組みへの課題が残る中では関係者への理解も難しいため、表明については慎重に判断していく。

地区サロン事業の推進は



桑政クラブ
すぎうら としお

杉浦敏男 議員

【答】 参加者・指導者の声を積極的に聴く

問 閉じこもり予防につながる地区サロン事業の推進は。

【答】 健康福祉部長 地区サロン数は、令和6年10月末において32か所の登録があり、各地区のサロンでは高齢者の交流や介護予防などを目的とした運動教室、脳トレ、高齢者が集まってきた話、クラフト工作、ゲームなどが行われている。地区サロンに対する支援として、社会福祉協議会へ地区サロンを委託する中で1サロンあたり年間2万円の補助のほか、教室等へ講師を依頼した場合の謝金に対し補助をしている。参加者やサロン指導者の声を積極的に聴いていきたいと考えている。

問 地域包括支援センターとの連携は。

【答】 健康福祉部長 地域包括支援センターは高齢者の保健、医療、福祉のサービス等を適切に利用できるような包括的に支援することを目的として設

置されている。高齢者の実態把握によって得られた情報から、介護予防や閉じこもり予防が必要な方に対しては運動教室や地区サロンなど、その方の状態や希望に合わせたサービスの紹介を行っている。相談支援については地域包括支援センター職員と町職員と一緒に訪問するなど、対応している。今後の地域の福祉を支える仕組みとして、これまで以上に地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携を密にして「閉じこもり」をはじめとした地域の様々な福祉課題解決に取り組んでいかなければならないと考えている。

問 認知症高齢者支援対策

【答】 健康福祉部長 認知症サポーターの養成と活動は。

【答】 健康福祉部長 認知症高齢者の支援対策として「FUSO認知症たすけ隊」という住民参加型の「認知症サポーター養成講

座」を開催し、住民の方に認知症の理解を深めて頂いている。令和6年度の実績は11月末現在、7回開催し、223名の方に参加頂いている。養成講座を通して、認知症の方や、その家族に対する理解を深め、認知症の方が住み慣れた場所で少しでも長く生活続けることができるよう取り組んでいる。

問 認知症初期集中支援チームの充実は。

【答】 健康福祉部長 地域包括支援センターに事業を委託し、認知症サポーター、医師、保健師、看護師、社会福祉士及び町職員の参加による会議を毎月1回のペースで開催して対象の方の支援方法の検討や情報交換を行っている。在宅生活の継続を重視し、支援終了時における在宅生活率を上げていくことを目標としていく。



(高木西「くすの樹」サロンの活動の様子)



無所属
やまだ あつき
山田惇起 議員

時間単位有休の普及促進を

町として意義のあるものと認識

問 9月中旬、気温3度の中で中学生による資源回収案内の配布が行われた。子どもの命に対し、人たちはどのような意識をもって向き合っべきか。

答 教育長 熱中症特別警戒アラートが発令されれば、子どもの命を第一に考え、休校や行事中止の判断をする。教師たちは、子どもを尊重しながら、豊かな教育活動を安全に展開する意識を高くもって取り組んでいる。今後子どもたちの安全を第一に様々な配慮を実施する。

問 流産をされたご家族へのケア体制は。

答 健康福祉部長 流産は、非常に慎重かつ丁寧に取り扱いなければならぬ事柄であり、本町から積極的に情報収集することができず、把握が難しいのが実情である。ご本人やご家族から不安や困りごと、気持ちを聴いてほしいなどの相談があれば、保健師または助産師がお話を伺い、必要に応じて家庭訪問の実施や、愛知県の相談窓口等のご案内をするなど、つらい気持ちが少しでも和らぐような心のケアに努めている。

問 時間単位有休は通院や子どもの急なお迎えをはじめ多様なニーズに柔軟に対応できる。町内事業者への導入促進の取り組みは。

答 産業建設部長 時間単位の年次有給休暇制度について意義のあるものと認識している。愛知県労働局を通じ、「年次有給休暇取得促進月間」について周知依頼があり、ポスター掲示やリーフレット配布を行った。

問 本年は特に鉄道事故が多く感じるが、踏切の安全性向上の取り組みは。

答 産業建設部長 沿線の老朽化したフェンスの取り替え工事を安全対策として行っている。今後、踏切内の歩道の拡幅や、鉄道会社が管理して

いるフェンスの改修などの要望を行っていきたい。

町職員の労働環境

問 過去3年の定年退職を除く離職者数と新規職員の新採用試験回数、職員の町内在住率は。

答 総務部長 令和3年度から順に、離職者数は6人、10人、9人。採用試験回数は5回、4回、2回。現在の職員町内在住率は39・9%。

問 全国各地の市町村で、開庁時間を短縮する動き

がある。準備や片付けといった時間外労働や高騰する水道光熱費の削減、政策立案やミーティング時間の確保などで優秀な人材確保、住民サービスの向上につながる理由とされている。定時に来て定時に帰れる、当たり前前の労働環境とするため、本町での導入の検討は。

答 総務部長 他自治体で動きがあることは承知しているが、検討するまで至っていない。



(有給取得促進期間 案内ポスター)

小学校給食試食会事業の再開は



新政クラブ
かたの たいが

片野泰雅 議員

【答】 来年度から形態を変え、試食会を計画

問 給食試食会が、コロナ禍を理由に中止され、教職員の働き方改革の経緯の中で再開がされていないとのことだが、保護者の方にもたいへん好評だった事業であるため、再開の考えは。

答 教育部長 令和7年度からは、かつての試食会からは形態を変え、学校給食共同調理場で児童の保護者を対象とした数十名単位の試食会を開催する計画を進めている。

問 体操服助成金制度創設は子育て世代のご家庭では子どもの成長に合わせて何着も体操服を購入する経済的な負担が大きいと思われる。扶桑町独自の「体操服助成金制度」の創設の考えは。

答 教育部長 学校によっては、PTAなどが主体でリユース品の譲渡を行っており、補助制度については、要保護、準要保護の方には、就学援助費の学用品費としての補助を

している。すべての児童生徒に対しての体操服購入時の助成については、経常的に予算も必要となるため、現在のところ考えていない。

こども誰でも通園制度

問 令和8年度から本格的な実施が予定されている「こども誰でも通園制度」の意義は。

答 教育部長 子どもを「預かる」というサービスではなく、保護者とともにに子どもの育ちを支えていくための制度である。

問 扶桑町でもモデル事業として先駆的に取り組む考えは。

答 教育部長 モデル事業は、事業の必要量の推計に役立つものと考ええる。保育士の確保などの課題があるが、モデル事業を行う方向で検討している。

保育士の業務改善は

問 保育園のICT化による業務軽減が図れれば、職場環境改善などに繋がり、保育士採用などにも大きなメリットとなると考えるが、より質の高い保育を実現するため、令和7年度当初予算に向け、様々な交付金を活用することを前提に保育業務の

ICT化に伴う予算措置についての考えは。

答 教育部長 デジタル田園都市国家構想交付金や保育対策総合支援事業費補助金などの補助金を活用することを前提に、システム導入の検討をし、予算措置に努める。



(扶桑東小学校の給食の様子)



桑政クラブ
おおかわら みつお
大河原光雄 議員

体育施設開放事業の受益者負担は

答 空調設備導入に併せて取り入れたい

教育委員会事務局点検評価報告から

問 学校施設の適正な整備、維持管理の計画を行うため、令和6年度に立ち上げる庁内のプロジェクトチーム、分科会とはどのような構成形態で、学校教育課の課題にどのように対応していくのか。

答 総務部長 小中学校ワーキンググループは、学校教育課長をリーダーに、学校教育課、防災安全課、財政管財課の職員で構成し、学校教育課からの要望や課題を共有するとともに、将来の方向性を具体化し、公共施設等総合管理計画、個別施設計画の改定に反映するための素案を作成していく。

問 「地域とともにある学校づくり」の課題は何か。
答 教育長 「学校と地域が一体となって子どもを育てる意識」の共有が課題である。

問 学校体育施設スポーツ開放事業における外部評価委員の評価に「一部受益者負担についての検討を」と一歩踏み込んだ提言があるが、今後の方針は。

答 教育部長 体育施設開放事業における電気料の一部受益者負担について、「電気料金が高騰しており、利用者の理解も深めながら受益者負担の検討を」と外部評価委員の報告があった。小中学校の体育館を他の体育施設と同様に、維持管理に係る経費の一部を使用料とし

て利用者にご負担いただくことは必要と考える。現在、小中学校の体育館への空調設備導入を進めているところであり、丁寧な説明のもと、導入に併せて受益者負担を取り入れたいと考える。

国際基準による避難所の環境改善

問 内閣府が指定避難所の備蓄・環境について、国際基準を反映して、自治体向け指針を改定するところ。本町の対応は。



(学校体育施設スポーツ開放事業(高雄小学校))

答 生活安全部長 「物資調達・輸送等支援システム」が運用され、データの共有化を図っている。10月にシステムの最新情報への更新や備蓄物資に関する調査等の依頼があった。今後示される自治体向け指針の具体的改定内容を確認して検討する。

問 姉妹都市を持たない本町として、遠方の地方公共団体との「防災協定・災害時応援協定」締結の必要性和、今後の対応の考えは。

答 生活安全部長 遠方の地方公共団体との災害時の相互応援は、被災状況の違うことが想定される自治体間での相互支援に繋がり、有効なことで、本町は福井市と協定を締結している。今後の新たな自治体間の相互応援協定の考えや予定はないが、民間との協定、国からのプッシュ型支援など、総合的に勘案して体制整備に努める。

DXの今後の展開は



桑政クラブ
いとう たけし

伊藤 猛 議員

【答】 令和7年度末までにシステム標準化移行していく

問 自治体DXの業務推進計画を基にした本町のDXの進捗状況と意義は。

【答】 総務部長 自治体には「自ら担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させる」「デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく」ことが求められる。喫緊の課題であるシステム標準化への対応を進めるとともに、住民の利便性向上を図るための電子申請の検討、業務フローの見直し、職員の意識醸成といった、業務効率化に向けた取り組みを進めている。

【問】 DXの想定される課題は。

【答】 総務部長 令和7年度末までのシステム標準化への対応が大きな課題である。多岐に渡る調整事項が発生する状況ではあるが、今後も進捗管理を適切に行い、住民サー

ビスに影響が出ないように着実に進めていく。DXを推進していくうえで、誰も取り残されることが無いよう注意を払いながら進めていくことも重要な課題であると考えている。

【問】 DXの今後の業務展開は。

【答】 総務部長 住民サービスに寄与する部分として、電子申請を推進していきたい。今年度実施された定額減税補足給付金の手続きはオンライン申請を導入し、全体申請数6278件に対し、オンライン申請数2194件、電子申請率34・98%と一定の成果が出た。デジタルデバイドの観点も踏まえ、全てのデジタル化が是ではないので、住民視点に立って進めていきたい。また、環境配慮の観点からもペーパーレスの推進を行っていきたいと考えており、まずは内部的なところから、大量の紙を使用する事務等についてデータ代替など模索・

検討を進めていく。システム標準化については、非常に厳しい部分もあるが、住民サービスや業務に影響が出ないような工程で進めており、令和7年度末までの標準化移行は可能との前提で業務を遂行している。

【問】 DX推進の組織体制は。

【答】 総務部長 関係課を集めた部会を設け、情報を共有しながら適切なシステム移行が達成されるよう取り組んでいる。令和5年度から引き続き、

中堅若手職員を中心としたDXワーキンググループの活動を継続しており、職員全体への意識啓発、電子申請の推進等の活動を行っている。

DXは一部の部署、職員が実施していくものではなく、また、単に新たなシステムを導入して終わりというものでもない。全ての職員が意識し、業務の見直し、効率化の改革を図るものであり、全体で取り組んでいきたいと考えている。



(DX 打合せ風景)



桑政クラブ
まみや みきお

間宮幹男 議員

財政健全化対策の財源見直しは

答 経常経費を見直し、コスト削減

財政健全化対策

支出の削減策は。

問 総務部長 限られた財源の中で真に必要な施策への重点的な予算配分を行うとともに、毎年度

固定にかかる経常経費見直しと削減も必要となっている。また、職員の適正配置による時間外勤務手当の縮減や、会計年度任用職員の効果的な配置、計画的な基金積立による起債の抑制、真に支援が必要な方への扶助費の見直し等、持続可能な財政基盤の確立のためには、経常経費を見直し、コストの削減を図らなければならぬと考える。

問 収入の増加策は。

答 総務部長 企業誘致は、固定資産税や法人町

民税などの自主財源の増収が見込めることはもちろん、雇用機会の拡大や地域の活性化という点において、将来安定した行財政運営をしていく上で重要になる。また、受益者負担を考慮した使用料

の見直し、ネーミングライツや広告収入など税外収入の創出など、さらなる自主財源収入の検討も進めていく必要がある。自主財源以外では、国や県などの補助金制度の情報収集と積極的活用、将来負担を踏まえた起債の有効活用など、事業推進のための財源確保にも努める。

問 数値管理は。

答 総務部長 町税や普通交付税などの経常一般財源に対する経常経費の割合をチェックする指標として「経常収支比率」があり、財政構造の弾力性を表す指標として、毎年度の推移を注視している。

この数値が低いほど経常的に収入される一般財源を弾力的に運用できるところを示しており、新規事業にも財源を投資しやすい。また、「財政健全化判断比率」の推移にも留意しており、実質公債費比率は低い数値となっているが、今後起債に伴う元利

償還金も増えていくことが見込まれるので推移には十分注意していく必要がある。

持続可能な財政運営

問 行政の効率化・スリム化は。

答 総務部長 第5次総合計画に基づく施策を点検・評価しながら、継続的に取り組むPDCAサイクルを有効活用していくことで、地域の実情に即した効率的な行政運営を進めていく。

問 事務事業の見直しは。

答 総務部長 災害対策をはじめとする優先的に取り組むべき課題やDXの推進、カーボンニュートラルの実現など、新たな社会の実現に向けた課題に取り組む。総合計画に基づく施策を点検・評価すること、各事業のあり方を毎年検討し、事業見直しを進める。

問 財源の確保は。

答 総務部長 補助金など外部資金の獲得を研究するとともに、歳出においても事務事業の見直しや、公共施設の統廃合などによる経常経費の削減による財源の捻出、今後控える公共施設の更新・再編を見据えた計画的な基金積立など、歳入・歳出両面から、財源確保の検討を進めていく必要がある。

問 財源の確保は。

答 総務部長 補助金など外部資金の獲得を研究するとともに、歳出においても事務事業の見直しや、公共施設の統廃合などによる経常経費の削減による財源の捻出、今後控える公共施設の更新・再編を見据えた計画的な基金積立など、歳入・歳出両面から、財源確保の検討を進めていく必要がある。



(扶桑町予算書及び予算に関する説明書)

4年に一度の防災訓練でよいか



新政クラブ
わだ よしかつ

和田佳活 議員

【答】 効果の高い訓練を官民協働で実施

問 総合防災訓練が9月29日、扶桑東小学校区を対象に行われたが、訓練の成果と課題は。

【答】 生活安全部長 445名の参加があり、安否確認訓練を実施したところ、安否確認ツールを掲げている住居は、確認できた中で54%になり、昨年と比較して8・8%増えている。多くの方に参加いただき防災意識の高揚が図れた。課題として、自助、共助の意識を深め、具体的な取り組みに結びつけることを目標に、内容充実を図りながら、継続的に取り組んでいく。

問 地域にとって訓練が4年に一度であり、主催者の都合で実施していないか、忘れたころの訓練で課題を解決していけるのか。

【答】 生活安全部長 現在は、4小学校区で順番に実施することにより4年

で全小学校区を一周する方法で実施している。自分自身や家族を守るため、自分がとるべき行動の知識・技術を得る自助を目的とした訓練、地域やコミュニティといった周囲の方たちと協力して助け合う共助を目的とした訓練の充実を検討したい。4小学校区全ての地域での同時実施は、メイン会場とサブ会場の設営などにより実施していくイメージである。

防災ボランティアや防災士などの協力は不可欠であり、訓練のあり方について防災連絡協議会の意見をもらい、より効果の高い訓練を官民の協働により実施していきたい。

問 おくやみコーナーにおける年金手続きは

【答】 書類作成がままならぬ高齢者の方も、随行者の方が、書類作成、申請者に同伴して、一宮・美濃加茂の年金事務所に向いているのが現状であ

る。年金事務所に向かなくても、役場内にて社会保険労務士による年金相談の実施はできないか。

【答】 健康福祉部長 一宮年金事務所の出張年金相談を3か月に1日で年4回実施している。予約は受付を開始した日に全部埋まっている状況である。年金の制度や手続きに精通し、町が予定する様々な条件に適應する体制を構築するため、今後よく検討していきたい。

企業誘致を積極的に進めるための、緑地面積率の緩和策は

【問】 地域準則を新たに制定することで、緩和された緑地面積率を進出企業に適用するという考えは。

【答】 産業建設部長 高雄東部地区においても、広い道路より離れた区画等、企業進出が進まない場所が生じる可能性がある。緑化率の緩和に向け工場立地法における市町村準則条例の制定に向けて調査・研究を進めていく。



(東小学校区での総合防災訓練)



桑政クラブ
いちほし ひでお
市橋英男 議員

町の街路灯(防犯灯)の整備は

答 安全対策を加味して設置を検討

問 町の街路灯と商工会・商店街等が設置する街路灯との関連は。

答 産業建設部長 町の

街路灯は、夜間における道路状況、交通状況を的確に把握するために設置しており、暗い場所の防犯を目的とした安全対策の役割も担っていて、現在、その数は、本年11月末現在で2486基あり、LED化は、約72%完了している。また、ソーラー式の街路灯については、費用面の課題があり、今のところ設置予定はない。扶桑町商工会の街路灯は、159基あり、町内商店街の活性化及び消費者の夜間の安全性を確保する目的として設置してきたものと聞いている。そのため、設置にあたっては、それぞれの設置目的に照らし合わせて設置されてきたものと認識している。

問 町と商店街の街路灯の維持管理は。

答 産業建設部長 本町が設置している街路灯の

維持管理としては、ポールの倒壊を事前に防ぎ、道路の安全確保に努めるとともに、老朽化したポールの交換や電柱共架への移設及び電気料、球切れの交換など保守についても併せて行っている。なお、商工会の街路灯については、電柱共架など、移設は行っていないが、他は町と同様の維持管理を行っていて、町が電気料の一部を補助している。

問 商工会等が設けている街路灯については、現状、存続・維持管理が難しい状況下にあつて、この先、街路灯の撤去も予想される。地域住民からは、防犯上の観点と日常生活における安心と安全確保のため、街路灯の存続か、新設の要望があるが町としての考えは。

答 産業建設部長 商工会が設置している街路灯については、事業所の減少や街路灯による広告宣伝効果の相対的減少、電気代の高騰や電球などの

部品の値上がりのほか、設置してから30年以上経過していて、支柱のポールや電線の老朽化が進んでおり、倒壊や断線による火災のリスクが高まっていることなど、様々な要因から、今後、維持をしていくことが難しい状況になってきており、順次撤去していく予定と聞いている。来年度においては、柏森発展会分21基と扶桑発展会分21基の計42基が撤去される予定。そのため、今後、町としては、夜間における道路状況、交通状況、防犯を目的とした安全対策及び既存の道路照明や街路灯の設置状況等を加味した上で、街路灯の設置を検討していく。



(柏森発展会)



(扶桑発展会)



(町)

町と商店街の街路灯

合併処理浄化槽設置補助金拡充を



公明党
さとう ちえこ
佐藤智恵子 議員

答 近隣市町の状況を参考に検討

問 令和5年度本町の汚水処理人口普及率は76.5%。近隣市町や県の普及率93.2%と比較しても低いと感じるがどう考えるか。

答 生活安全部長 下水道区域については、五条川右岸流域下水道の供用開始が近隣市町の中でも遅く、下水道の普及率が低い。区域以外は単独し尿処理浄化槽からの転換が進んでいないためと考える。

問 単独し尿処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換には85万〜140万円くらいかかる。設置するための補助金制度があるが、近隣市町より8万円ほど低い。拡充できないか。

答 生活安全部長 全世帯が早く合併処理浄化槽等へ転換して頂けるよう、財源の問題もあるが近隣市町の状況を参考にし、国庫助成対象額に近づけていくことを検討していく。

問 投票率向上の取り組み

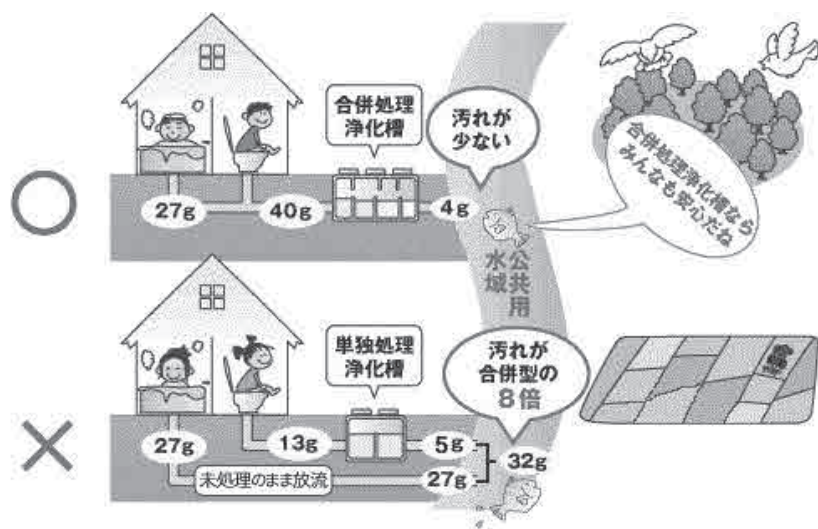
問 先の衆議院選挙において、完全なデータではないものの、年齢別期日前投票数をみると、若い世代の投票率が低いことが伺える。投票率向上に有効な手段の一つとして、18歳になった時に選挙手帳※を配布する考えは。

答 総務部長 様々な市町村で導入されていることは承知している。今後研究する。

問 選挙権があっても、投票所まで行くのが困難な高齢者等に対して、各市町村工夫しながら取り組んでいる。今後予想される高齢者等支援が必要な方、不安を取り除く対策、投票しやすい環境整備が必要と考えるが。

答 総務部長 投票所において手伝ってほしいことを伝えることができる。投票支援カードを導入している。また、郵便投票制度対象者拡大を要望する動きが全国で起きているが、国の制度改正には

至っていない。全国での事例を踏まえ、研究していく。



※数値は1人が1日に出す水質汚濁物質の量を BOD で表したもの。
 (「浄化槽サイト 自然にやさしい浄化槽のひみつ」(環境省)
<https://www.env.go.jp/recycle/jokaso/himitsu/main04.html> を加工して作成)

※選挙手帳
 80歳までに約100回の投票機会があると想定し、100回分のスタンプを押せる欄や自分の考えを自由に書き込める欄など、選挙に関する情報を整理・管理するためのツール。



日本共産党
あらき こうぞう
荒木孝三 議員

給食費無償化は

答 国や各自治体の動向を注視

問 若い世帯の経済的負担を軽くするための給食費無償化を令和7年4月以降も継続していただくことを改めて要求する見解は。

答 **教育部長** 給食費の

問 学校給食の始まりは、山形県の鶴岡町（現鶴岡市）の小学校で貧困児童を対象に無償で行われたことに端を発している。憲法26条2項では義務教育を無償化としている。この物価高の中、低所得世帯にとって給食費の家計負担は大きくなり、家庭経済を圧迫する。当局の考えは。

答 **教育部長** 令和7年4月以降は、小学校及び中学校の学校給食費を1食30円値上げし、小学校290円、中学校320円にする。値上げ分を加えて、1食50円を公費負担とし、保護者負担が、小学校240円、中学校270円の値上げ前と変わらないように考えている。

問 住民の要望と今後の展望は。

答 **生活安全部長** 利用状況は、令和6年10月が、1221件、1日平均では55・5件の利用で令和4年10月から令和6年9月までの実証運行期間の1月平均、1102件、1日平均、54・4件を上回る利用となっている。会員登録者も、10月末現在で3506人と運行開始時点と比べ倍増している。本格運行に移行して、利用回数は、頭打ちの状況であるが、登録者数と利用経験者数は増えている。

問 チョイソコの今後は

無償化については令和6年11月から令和7年3月までの5カ月間としている。その後については、経常的に予算が必要となるので、今後も国や各自治体の動向を注視しながら検討していきたいと考える。



(町内を走るチョイソコ)

答 **生活安全部長** ご意見、要望については今年5月に扶桑町地域公共交通計画改定案及びチョイソコ運賃のパブリックコメントを行ったが、意見、要望はなかった。今後も引き続き町民の重要な公共交通として維持していきたいよう努める。

問 今後の町の状況は。

答 **健康福祉部長** 来年度も引き続き被保険者は減少が見込まれ、医療費も、総額で微減の予想がされている。税率の決定は県納付金の額が決定したのち、国民健康保険運営協議会の諮問・答申を経て3月議会で議決いただく流れになるが、税率を引き上げることなども、必要最小限としていと考えている。

問 高い保険税の対策についてお聞きたい。

答 **健康福祉部長** 収支のバランスを考えると、新たな軽減制度の創設は、慎重にならざるを得ない状況である。将来的に県下の保険料水準の統一を目指しているところであり、その他繰入金を繰り入れることは困難である。低所得者の負担減少を図るため、応能割に重点を置いていくことも配慮していきたい。

自転車罰則強化の周知は



桑政クラブ
かねまつ のぶゆき

兼松伸行 議員

答 犬山警察署と協力し、チラシの配布など啓発活動を行う

問 自転車において道路
交通法改正された内容は。

答 **生活安全部長** 令和6
年11月から自転車運転中
にスマートフォン等を使
用する「ながらスマホ」の
罰則が強化され、スマホ
を注視することはもちろ
ん、自転車に取り付けら
れたスマホを注視するこ
とも禁止された。また、「自
転車の酒気帯び運転及び
補助」が新たに罰則の対象
となった。

問 18歳未満でも赤キッ
プ（罰金刑）を切られるこ
とがあるか。

答 **生活安全部長** 14歳
以上で赤キップを切られ
ることを確認した。なお、
刑法第41条において14歳
未満の者は、罰しない。

問 今後の住民の皆さん
への周知は。

答 **生活安全部長** 現在、
イオンモール扶桑などの
チラシ配布や犬山警察署
が小学3年生を対象にし
た交通安全活動をしてい
る。今後も交通安全意識
を高める啓発を行うと

もに交通事故の防止を
図っていく。

ひきこもり支援事業

問 本町ひきこもりと8
050問題の現状は。

答 **健康福祉部長** 厚生
労働省ガイドラインでは、
「様々な要因の結果として
社会参加を回避し、原則
的に6ヶ月以上にわたり
概ね家庭にとどまり続け
る状態」と定義されてい
る。

本町では14件の相談があ
る。また8050問題は、
80代の親が50代の子ど
もの生活を支えるもの、親
が介護状態になり子ども
が離職など、社会的な孤
立が背景となっており、
令和6年11月には11世帯
把握している。

問 今後18歳以上のひき
こもりの居場所づくりと
「ひきこもり支援相談セン
ター」設置の考えは。

答 **健康福祉部長** 以前
から福祉課の窓口にて相
談を受けているが、令和
3年4月より扶桑町いこ

いの家にて「こころの居場
所ひまわりカフェ」を開設
し毎月第2火曜日の午後
1時30分から3時まで、
精神保健福祉ボランティア
による居場所づくりを行
っている。また、ひき
こもり支援相談センター

設置については、「ひまわ
りカフェ」の継続に加え、
幅広い相談内容に対応す
るため、総合福祉センタ
ー1階「基幹相談支援セン
ターふそこ」の相談体制を
強化し、有効活用してい
く。



(道路交通法改正 令和6年11月)



新政クラブ
せんた かつふみ
千田勝文 議員

令和7年度予算編成の重点項目は

答 小学校体育館に空調設備を設置など

問 予算編成における重点項目は。

答 総務部長 安心して暮らせるまちづくりの強化を図るため、今後発生が懸念される大規模自然災害に備え、避難所設備の充実に向けた整備を行うため、指定避難所になっている小学校の体育館に、LPガスの貯蔵・供給システムを導入し、空調設備を設置する工事を行い、併せて、平常時においても学校で学ぶ子どもたちが安全に、安心して活動できるようにしたい。さらに、令和8年度には中学校体育館にも空調設備を設置予定であるので、その設計に着手したい。教育・子育て支援では、学校給食費について、食料費の高騰による値上げ拡大分を減免し、保護者の負担増とならないようにしたい。

また、令和8年度から本格実施される「こども誰でも通園制度」について、試行的導入を含め準備を進

めたい。

公共施設などの長寿命化では、建物の劣化診断や、橋梁の点検を進めるとともに、斎藤保育園の屋上防水・外壁等改修工事、扶桑北中学校の非構造部材耐震化改修工事などを実施したい。

問 公共施設の維持管理計画の取り組みは。

答 総務部長 公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の現計画期間が令和9年度で終了するため、今年度は、財政管財課と施設担当課の職員に防災担当者や管財経験者も加えてワーキンググループをつくり、現計画の課題、大規模改修や建て替えの計画を具体化するための方向性を話し合っている。令和7年度は、職員による準備委員会を立ち上げ、公共施設等総合管理計画、個別施設計画の原案の作成を進める。併せて、建築技師の職員により、小中学校、保育園の劣化診断を実施

し、大規模改修や建て替えの計画を具体化するための基礎資料づくりをし、必要に応じて専門家のアドバイスを受けながら進める。令和8年度からは、

学識経験者や各種団体の代表者などで構成する公共施設等総合管理計画策定審議会を開催し、計画案について審議し、策定に向け進めていく予定。



(会派による予算要望提出)

キラリ★ まち人紹介



Palettes(パレット)
柏森在住
濱田 宝さん(25)

〈扶桑にもっとにぎわいを!〉

5人組ボーカルグループ「Palettes」として扶桑町の魅力を歌で発信する活動をしています!

昨年、10月20日に扶桑町にぎわい創出事業の一環として、『扶桑にぎわい祭り 笑みっしょん』を催させていただきました。この日のために色々な業者様や団体の方にご協力を依頼させていただいた他、テーマソングの作成や町内の保育園を訪問し、子どもたちにPalettesの楽曲の振付のレクチャーなども行わせていただきました。準備で戸惑うこともありましたが、当日様々なステージや謎解きゲームを性別や年代を問わず町民の皆さんが楽しんでいる様子を見てとても幸せな気持ちになりました。

今後も私たちにできる形でこの町ににぎわいをお届けできるよう頑張っていきたいと思っています!

〈タンブリングでメダルを目指す〉

扶桑町でアクロバット・トランポリン体操教室を運営している母のもと、ダイナミックな技の魅力に引き込まれ、小学3年からタンブリング(体操・トランポリンの一種目)に熱中し、今までに全日本選手権において6回優勝。世界選手権にも日本人ではじめて出場し5位入賞を果たしました。次の目標は世界大会のメダルの獲得です。

今の私があるのは、地域の方々をはじめ周囲の皆さんのサポート・応援があるからこそと、いつも感謝をしています。

今後も扶桑町出身のアスリートとして活躍しながら、スポーツを通じ皆様の健康増進のお手伝いをしていきたいと考えています。



タンブリング選手
小淵在住
北折 愛里さん(22)

お知らせ

「会議録検索システム」
インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ
↓
扶桑町議会
↓
扶桑町議会
会議録検索システム



●12月定例会分は、3月3日に更新を予定しています。

3月定例会の日程(予定)

3月 3日(月)	開会・提案説明
3月10日(月)	一般質問
3月11日(火)	一般質問
3月12日(水)	議案質疑
3月13日(木)	予算決算特別委員会 (総務経済所管分)
3月14日(金)	予算決算特別委員会 (福祉教育所管分)
3月17日(月)	総務経済常任委員会
3月18日(火)	福祉教育常任委員会
3月19日(水)	常任委員会予備日
3月27日(木)	委員長報告・討論・採決・閉会
場所: 扶桑町役場2F議場等 時間: 午前9時30分から (日程は変更になることがあります)	